



発行番号：第16A2960号

発行日：平成29年 1月27日

品質性能試験報告書

依頼者 株式会社 カ ナ イ

埼玉県八潮市浮塚 5 0 7 - 1

試験名称 木造住宅用基礎に使用するアンカーボルト「ナックルアンカーボルト30」の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター

中央試験所長 川 上 修

埼玉県草加市稲荷 5 丁目 2 番 20 号



品質性能試験報告書

試験名称	木造住宅用基礎に使用するアンカーボルト「ナックルアンカーボルト30」の引張試験									
依頼者	株式会社カナイ									
試験体 (依頼者 提出資料)	試験体 記号	アンカーボルト			木造住宅用基礎		数量			
	C	寸法：全長；700 mm 埋め込み深さ；250 mm ねじ部；M12 軸部；φ10.6 mm			寸法：150 mm×400 mm×3000 mm コンクリート：普通 21 18 20 N (JIS A 5308) 鉄筋：主筋；D13 SD295A (JIS G 3112) ；D10 SD295A (JIS G 3112) せん断補強筋；D10 SD295A		3			
	(注) 1. 木造住宅用基礎は、基礎の立ち上がり部分（以下、基礎相当材という）を対象とした。 2. 試験は、基礎相当材のコンクリート圧縮強度が 21 N/mm ² ±10%の範囲内で行うようにした。 参 照：図1（試験体）、表1（コンクリートの圧縮強度試験結果及び配合）、 表2（鉄筋の引張試験結果）、図2（鉄筋の応力-ひずみ曲線）									
試験方法	概 要：基礎相当材上面に埋め込まれたアンカーボルトにカプラー及び加力用棒鋼を取付け、反力台、ジャッキ、球座及びロードセルを介して引張荷重を連続的に加えた。また、ひび割れ等の試験体の破壊状況を目視により確認した。 加力装置：センターホール型油圧ジャッキ（揚量；326 kN）及びセンターホール型ロードセル（容量；100 kN、非直線性；0.2 %RO、ヒステリシス；0.2 %RO） 測定装置：電気式変位計（容量；50 mm、感度 200×10 ⁻⁶ /mm、非直線性；0.1 %RO）及びデータロガー 参 照：図3（試験方法）									
試験結果	試験体		基礎相当材 上面のひび割れ 発生時		最大荷重時		破壊状況	基礎相当材の コンクリート 圧縮強度 (N/mm ²)		
	記号	番号	荷重 P (kN)	変位 δ (mm)	荷重 Pmax (kN)	変位 δ (mm)				
	C	1	49.6	3.0	63.0	19.4	アンカーボルトの軸部で破断			
		2	52.1	2.4	67.3	25.8	アンカーボルトの軸部で破断			
		3	46.5	2.5	64.5	31.5	アンカーボルトのねじ部で破断			
平均	49.4	2.6	64.9	25.6	—					
参 照：図4及び図5（荷重-変位曲線）、写真1～写真3（破壊状況）										
試験期間	平成28年12月 7日									
担当者	構造グループ		統括リーダー		室 星 啓 和		統括リーダー代理		上 山 耕 平 高 橋 慶 太 大 西 智 哲（主担当） 数 納 宣 吾	
試験場所	中 央 試 験 所									